

## 令和7年度 個別地域ケア会議実施報告

### (1) 主催

地域包括支援センター(5か所)

### (2) 目的

- ・高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援
- ・実態把握や課題解決のための、地域包括支援ネットワークの構築
- ・個別ケースの課題分析等を行うことによる地域課題の把握

### (3) 開催回数

包括名	十字の園	さくら通り	菜の花	あすなろ	富岳	合計
回数	3	5	3	2	1	14

### (4) 参加者

本人・家族、介護支援専門員、生活支援コーディネーター(社会福祉協議会)、市長寿福祉課、その他(支援に関わる専門機関)

### (5) 検討内容(一部抜粋)

- ・身寄りのない独居高齢者に対する支援体制の構築
- ・経済困窮、認知症高齢者に対する生活支援
- ・病識がない独居高齢者の在宅生活への支援
- ・認知症の人の在宅サービス利用について
- ・認知症の人や独居高齢者の見守り体制の整備について
- ・独居高齢者のゴミ出し支援
- ・関係者間の情報共有と支援体制の構築 等

## 令和7年度 圏域地域ケア会議実施報告

### (1) 主催

地域包括支援センター(5か所)

### (2) 目的

- ・個別事例の検討から導かれる地域課題の抽出
- ・地域課題について、地域で対応可能なことの検討
- ・地域資源の情報共有
- ・開催した個別地域ケア会議の検証と検証結果のフィードバック

### (3) 開催回数

圏域名	御殿場 地区	原里 地区	印野 地区	高根 地区	玉穂 地区	富士岡 地区	合計
回数	1	1	1	1	1	1	6

### (4) 参加者

見守りネットワーク構成員

- 医師、歯科医師、警察、消防、区長、民生委員・児童委員、介護施設、居宅介護支援事業所、医療機関、生活支援コーディネーター(社会福祉協議会)、市長寿福祉課、その他(見守りネットワーク構築に関わる関係機関)

### (5) 検討テーマ

インフォーマルサービス(ボランティア等)の担い手・支援者不足について

### (6) 検討内容(一部抜粋)

- ・ボランティア活動の見える化や広報、周知が必要
- ・ボランティアをやりたい気持ちがある人はいるが、活動につながらない
- ・早期(小・中・高校生)からボランティア体験をする
- ・既存の地域コミュニティの活用
- ・区や地域福祉推進員等の地域を巻き込んで体制を検討する
- ・他地区での好事例の横展開

## 令和7年度 御殿場市高齢者地域ケア会議実施報告

(1) 主 催 御殿場市

(2) 目 的 政策的な対応を必要とする課題や市域全体に関わる課題について検討

(3) 開催回数 年1回

(4) 参加者

主任介護支援専門員、訪問看護事業所看護師、認知症総合支援事業推進協議会代表、  
民生委員・児童委員、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター(社会福祉協議会)

(5) 検討テーマ

地域課題「インフォーマルサービス(ボランティア等)の担い手・支援者不足」に対する改善策

(6) 検討内容(一部抜粋)

- ・広報誌(広報ごてんばやひだまり)やFM、SNSの活用推進
- ・スーパーやドラッグストア等にポスター掲示
- ・社会福祉協議会の窓口からボランティアに関する情報を紹介
- ・講習会等の回数を増やす
- ・身近な地域で活動が出来るような体制づくり
- ・活動に応じてポイント等がもらえる制度づくり、有償ボランティアの充実

生活支援体制整備事業  
で更に検討を行った



(7) 最終結果

以下について令和8年度から実施する。

- ① 広報ごてんばにてボランティアに関する特集記事の掲載、ひだまり(社会福祉協議会広報誌)にて年2回特集を掲載。
- ② 市及び社会福祉協議会のSNSにて情報発信を継続して実施。
- ③ 御殿場市生活支援サービス冊子の活用。支援者側に関する情報を一元化することの検討。
- ④ 一部講習会(福祉車両講習やあったかサポート)については要望に応じて随時開催する。
- ⑤ 地区単位での活動希望があった際は積極的に立ち上げ支援を行い、有償ボランティアの活動を推進する。
- ⑥ 市や社会福祉協議会が実施主体の無償ボランティアに関しては活動に応じて富士山Gコインの付与を継続して行う。